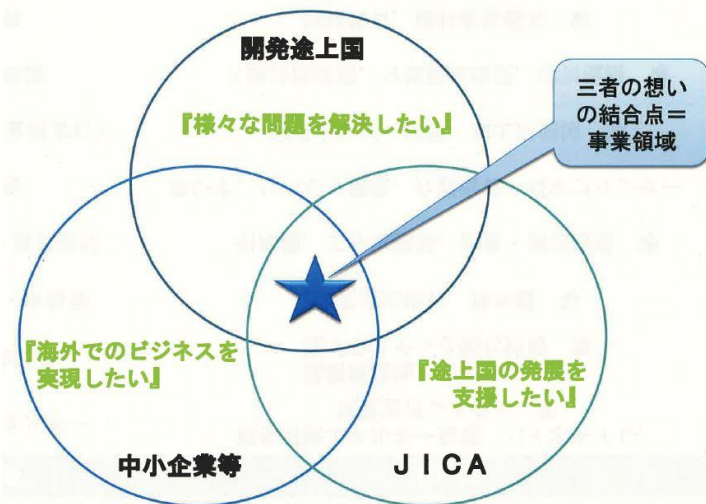
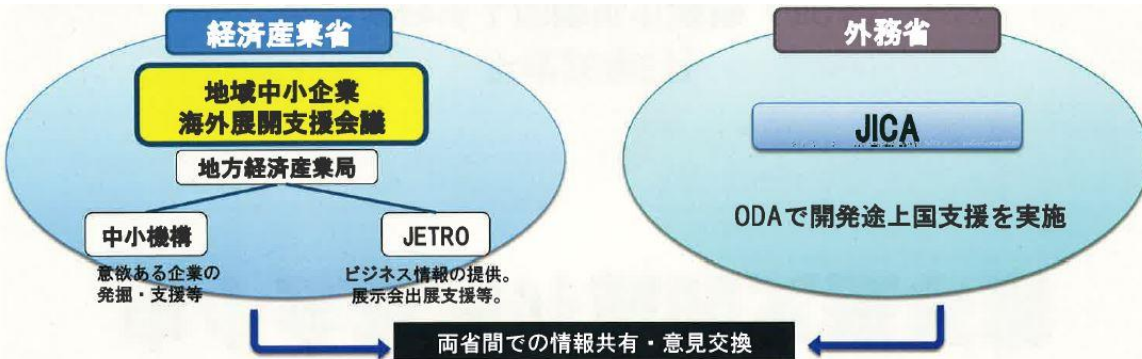


スリランカ  プロジェクトについて

株式会社カワシマ

JICA事業イメージ



製品・技術を途上国の開発へ活用する可能性を検討するための調査

※国別援助方針と提案内容は整合性があることが前提。

案件化調査

情報収集・調査

ODA事業の実施
(普及・実証事業等)

＜普及・実証事業＞
事業実施国政府関係機関と協働で開発課題の解決に向けて中小企業が保有する製品・技術の普及・実証事業を実施

海外展開

普及・実証事業の成果をもとに、途上国政府の事業やODA事業への製品等の活用、市場を通じた海外展開の促進

公的機関による支援メニュー (例)

- ✓ 外務省/JICA：国別情報提供、情報収集や事業計画作成支援
- ✓ 中小機構：意欲ある企業の発掘・支援等
- ✓ JETRO：ビジネス情報の提供、展示会出展支援等

JICA事業「中小企業海外展開支援事業」とは

ODAを活用した中小企業海外展開支援事業

| 2016年度 | 基礎調査 | 案件化調査 | 普及・実証事業 |
|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要 | 中小企業等からの提案に基づき、開発途上国の課題解決に貢献する中小企業等の海外事業に必要な基礎情報収集・事業計画策定のための調査 | 中小企業等からの提案に基づき、製品・技術等を途上国の開発へ活用する可能性を検討するための調査 | 中小企業等からの提案に基づき、製品・技術等に関する途上国の開発への現地適合性を高めるための実証活動を通じ、その普及方法を検討する事業 |
| 実施日程 (予定) | 【1回目】 2016年2月頃 公示(JICAのHP) 3月頃 募集要項説明会 4月頃 応募締切 6月頃 採択通知 (契約締結後調査開始) | 【1回目】 2016年 2月頃 公示(JICAのHP) 3月頃 募集要項説明会 4月頃 応募締切 6月頃 採択通知 (契約締結後調査開始) | 【1回目】 2016年 2月頃 公示(JICAのHP) 3月頃 募集要項説明会 4月頃 応募締切 6月頃 採択通知 (先方政府機関の了承取付、契約締結後事業開始) |
| | 【2回目】 2016年 9月頃 公示(JICAのHP) 9月頃 募集要項説明会 10月頃 応募締切 2017年 1月頃 採択通知 (契約締結後調査開始) | 【2回目】 2016年 9月頃 公示(JICAのHP) 9月頃 募集要項説明会 10月頃 応募締切 2017年 1月頃 採択通知 (契約締結後調査開始) | 【2回目】 2016年 9月頃 公示(JICAのHP) 9月頃 募集要項説明会 10月頃 応募締切 2017年 1月頃 採択通知 (先方政府機関の了承取付、契約締結後事業開始) |
| 公募対象 | 中小企業等 | | |
| 採択予定件数 (※1) | 23件程度 | 70件程度 | 37件程度 |
| 上限金額 (税込) | 850万円 | 3,000万円(機材(同時携行できる小型の機材を除く)の輸送が必要な場合は、5,000万円) | 1億円(※2) |
| 協力期間 | 数か月～1年程度 | | 1～3年程度 |
| 負担経費 | <ul style="list-style-type: none"> ・人件費(外部人材活用費のみ) ・旅費 ・現地活動費 ・管理費 | <ul style="list-style-type: none"> ・人件費(外部人材活用費のみ) ・旅費 ・機材輸送費 ・現地活動費 ・本邦受入活動費 ・管理費 | <ul style="list-style-type: none"> ・人件費(外部人材活用費のみ) ・旅費 ・機材製造・購入・輸送費 ・現地活動費 ・本邦受入活動費 ・管理費 |

※1 上記実施は、予算成立が前提となります。

※2 2016年9月公示分にて、公示案件数の一部について、上限額の見直し(拡大)を検討しています。

| 分野 | 具体例 |
|-------------|-------------------------------|
| 環境・エネルギー | 再生可能エネルギー発電，バイオトイレ，雨量監視システム 等 |
| 廃棄物処理 | 農業廃棄物リサイクル技術，廃プラスチック燃化技術 等 |
| 水の浄化・水処理 | 水質測定機材，浄水器 等 |
| 職業訓練・産業育成 | 研削盤，工作用機器，検査・測定機器 等 |
| 福祉 | 車いす，リハビリ用品，介護機材，点字プリンター 等 |
| 農業(食品・食料含む) | 灌漑ポンプ，収穫・加工用機械 等 |
| 医療保健 | X線診断装置，分娩監視装置，歯科機器 等 |
| 教育 | 理科教材，理科実験器具 等 |
| 防災・災害対策等 | 仮設用照明器具，災害救助用機材 等 |

スクリー型コンポストプラントによる有機性廃棄物・ 農業廃棄物のリサイクル事業 普及・実証事業

株式会社カワシマ(群馬県)

スリランカ国の開発ニーズ

- 家庭ゴミの増加に伴い深刻化するゴミ処分場と周辺地域における悪臭と衛生問題の改善。
- 自治体における有機性廃棄物の発生抑制や再生利用事業の推進。

普及・実証事業の内容

- キャンディ県のクダサーレ地区にコンポストプラントを建設し、家庭ゴミと農業廃棄物により良質のコンポストが製造されることを実証。
- 現地自治体や住民に対する運転指導等の技術移転の実施。
- 環境モニタリングや実証データの分析を踏まえた事業モデルの策定。

中小企業の技術・製品



製品・技術名

—スクリー型コンポストプラント(発酵機械)「RA-X」。
 ・有機性廃棄物と農業廃棄物に空気をまんべんなく通して攪拌し、高温好気性発酵と水分蒸散を促進して良質のコンポスト(堆肥)を製造。
 ・メンテナンスが容易、維持費も安く経済的。

—有効微生物「BX-1」。
 米ぬかを主原料とし、発酵中の悪臭とを抑制する堆肥発酵促進剤。

スリランカ国側に見込まれる成果

- 現地自治体と住民参加型によるゴミの分別収集、プラントの操業、コンポストの製造と販売に至るまでのリサイクル事業モデルの確立。
- 環境基準がクリアされた、有機性廃棄物処理プラントのスリランカ国内への普及。

日本企業側の成果

現状

- 国連の気候変動枠組条約(UNFCCC)のCDM(クリーン開発メカニズム)プロジェクトに同社製品・技術を日本で初めて登録。

今後

- 現地のニーズを踏まえコストダウンを図ったコンポストプラントのスリランカにおける内製化の検討とビジネスパートナーの選定。